

【科目名】		臨床心理学概論		【担当教員】	川原 正弘
【授業区分】	専門基礎分野(臨床医学)	【授業コード】	2-12-0305-0-2	(メールアドレス)	
【開講時期】	後期	【選択必修】	必修	kawahara@nur05.onmicrosoft.com	
【単位数】	1	【コマ数】	15 コマ	(オフィスアワー)	11:00～13:30(月～木)
【注意事項】					
(受講者に関わる情報・履修条件) 特になし。					
(受講のルールに関わる情報・予備知識) テキストとなるプリントを配布しますが、 テストなどは原則として返却しません。					
【講義概要】					
(目的) 臨床心理学に関連する精神科疾患、心理検査、カウンセリングに関する要点を理解する。 将来のリハビリテーション現場や社会生活で、心理的な問題を抱える人々に関わることは少なくない。 そうした人々の心理的な状態を適切に理解し、心理的に援助するための知識を身につける。 当該科目と学位授与方針等との関連性；A-2 当該科目と学位授与方針等との関連性；0-2					
(方法) 主として配布資料を使用して講義を行います。簡単な心理テストやワークなども用いて、人の心の査定や援助の方法の拝啓にある理論について学習を行う。					
【一般教育目標(GI0)】 精神疾患、心理アセスメント、心理療法に関する基本的な知識を身につける。 臨床心理学が果たす役割や支援のあり方を理解する。					
【行動目標(SB0)】 授業で取り上げるキーワードを説明できる。					
【教科書・リザーブドブック】 テキストとなるプリントを配布する。					
【参考書】 花園大学社会福祉学部臨床心理学科 編 『臨床心理学ことはじめ』 ナカニシヤ出版 (2,000円 + 税)					
【評価に関わる情報】					
(評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 定期試験を実施する。 出席点は評価に含まれない。					

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		90						10	100
評価指標	取り込む力・知識	90							90
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1-2	精神疾患との関連と支援 「認知症の評価」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
3-4	臨床心理学的リハビリテーション 「認知症への介入」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
5-6	臨床心理学的リハビリテーション 「職場におけるメンタルヘルス」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
7-8	臨床心理学的アセスメント：知能検査 「ビネー法・ウェクスラー法」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
9-10	臨床心理学的アセスメント：人格検査 「質問紙法・作業検査法・投影法」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
11-12	臨床心理学的介入：心理療法 「傾聴・支持的面接の技法」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
13-14	臨床心理学的介入：心理療法 「臨床心理学的支援のあり方」を理解する	講義	講義ノートの完成	90
15	「臨床心理学概論」まとめ	講義		45

